大阪高体連発第３０１号
大高体連登山部発第１６号
令和３年９月２１日

高等学校長 様
登山部顧問 様

大阪高等学校体育連盟
会　　長　浅川又一
登山部長　内田正俊
（公印省略）

第５７回大阪高校秋季登山大会について

標記大会を下記のとおり実施いたしますので、貴校からの参加についてご配慮ください。

記

１．期　　日　　令和３年１１月３日（水）　雨天決行

２．会　　場　　いきいきランド交野およびその周辺
（集合場所）　（交野市向井田２－５－１）
・JR 河内磐船駅から約１．１km、徒歩１５分
府立交野高校前の府道７３６号線を北東へ
公園東側入口の噴水跡周辺に集合

３．日　　程

役員打ち合わせ	9:00～	
付添顧問打合せ	9:30～10:50	
受　　付	9:30～ 9:45	
開 会 式	9:50～10:00	
スタート	10:10～	（１分毎にスタート）
閉 会 式	16:00～	（今年度については、閉会式は行わない。結果は後日各学校に連絡する。）

４．審査内容

（１）読　図
読図地点は５か所設ける。読図点（現在地確認）は、直径３㎜の円内を１０点、直径５㎜の円内を５点とする。ただし、ピークや沢の合流点など明確な地点については、これを適用しない。

（２）時　間
・制限時間　：出発地点から中間点までの、定められた所要時間を言う。
制限時間をこえた場合、事故防止のため以後の登山活動はできな

い。ただし、天候等の影響によって、大会中に時間を延長することがある。

・標準時間：全コースの定められた所要時間をいう。
標準時間より遅れた時、１分につき１点減点する。

（３）装　備
サブザック（ゼッケン付）行動とする。
雨具、防寒具、非常食、水、ライト、医薬品・ツエルト（チームで１個）等装備に不備がある場合、１品につき２０点減点する。【別紙】参照

５．順位決定
（１）チームの順位は次のとおり決定する。
得点［（読図点）－（時間・装備減点）］の高い順とする。
同点の場合は、コース走破時間の短い方を上位とする。
オープンは順位を付けない。
（２）団体の順位は次のとおりとする。
男女それぞれの合計得点の高い順とする。（H28 改訂）
同点の場合は、チームの平均走破時間の短い方を上位とする。
ただし、オープンの得点は除く。

６．参加資格　　令和３年度大阪高体連登山部加盟校の１・２年生

７．参加人員　　選手は１チーム２名とし、１校につき男女各２チーム以内とする。
オープンは、１チーム２名または３名とする。
ただし、一般参加は認めない。

８．参加費　　１チーム５００円

９．新型コロナウイルス感染症対策
・新型コロナウイルス感染の徴候がないか、大会２週間前より体温測定、咳、咽頭痛、倦怠感、感染者との濃厚接触の有無を記録し提出すること。提出がない場合は、参加出来ない。記録用紙は、Web ページよりダウンロードすること。
・大会当日、マスク着用の確認、体温測定、健康チェックを行う。
・体温測定、健康チェック時に次の症状がある場合、参加を禁止する。
１）発熱（37.5℃以上）、体調が良くない（発熱、咳、咽頭痛の症状が続いている）
２）同居家族や身近な知人に感染が疑われる。
３）過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
・マスクは各自持参し、必要に応じて着用すること。
・大会参加中は、ソーシャルディスタンスに留意すること。
・飲食物を共用しない。また、装備についても留意すること。
・可能な場面では手洗い、うがいを励行するほか、アルコール消毒剤など必要装備を持参すること。

１０．その他

（１）大会用地形図は、２万５千分の１地形図の必要部分をコピーしたものを当日配布する。

（２）読図点の記入は黒色ボールペンを使用すること。（各自準備すること）

（３）ゼッケン（縦 10cm 横 20cm、学校名・班　記入）をサブザック中央につけること。

（４）登山専門部で傷害保険に加入予定である。

申し込み　大阪高体連登山専門部ホームページより申込用紙をダウンロードして10 月 15 日（金）までに電子メール（添付ファイル）で送信する。
校長印を押印した申込書を 25 日までに郵送すること。

E-Mail　osaka.tozanbu.kamino@gmail.com

〒578-0976　東大阪市西鴻池町２－５－３３
大阪府立城東工科高等学校　上農　真紀雄
TEL 06-6745-0051　FAX 06-6745-6221

別　紙

秋季大会装備についての注意事項

（１）サブザック（個人装備）
携行品全てが完全に収納できること。
ザックの外に荷物がはみ出したり、ぶら下げることがないようにすること。
必ずゼッケンをつけること。

（２）雨具（個人装備）
風雨でも行動ができるようにセパレートタイプのカッパにすること。傘のみは不可。

（３）防寒着（個人装備）
素材・形状：セータ、フリース、ダウン素材などの長袖とする。
（登山行動中は、防寒着を着用しなくても良い服装を選択していること。）
防水対策が施されること。（レジ袋等、不完全なパッキングは不可）
一枚生地のウインドブレーカー、綿素材、雨具との兼用は不可。

（４）非常食（個人装備）
一般食料・行動食とは区別すること。
行動食とは別にし、防水、汚染対策を施すこと。
できるだけカロリーが高く、加熱せず、水が無くても食べられること。

（５）水（個人装備）
行動中の飲料水とは別に、非常用の真水(500ml 以上)を各自で携行すること。

（６）ライト（個人装備）
不要に電源が入らぬよう絶縁すること。（ロック機能で可）
ライトの使用中でも、両手が空くこと。

（７）医薬品・ツエルト（団体装備）
応急処置で必要な医薬品を検討し、できるだけコンパクトにまとめること。
期限切れの薬品や、汚染された医薬品は携行しない。
使用方法について全員がわかるようにすること。

（８）その他
その他、山行に必要な装備（行動食、飲料水、地図、コンパス、時計、筆記具、呼笛、ナイフ、手袋、細引、ザックカバー、計画書等）も各チームで判断し持参すること。